

東京アマデウス合唱団
第39回定期演奏会

*J.S.Bach*と息子たち

Carl Philipp Emanuel Bach (1714~1788)

Johann Christoph Friedrich Bach (1732~1795)

Johann Sebastian Bach (1685~1750)

2021年10月10日(日) 同仁キリスト教会礼拝堂

Tokyo Amadeus Chorus



ご挨拶

本日はお忙しい中ご来場いただきありがとうございます。心より御礼申し上げます。

皆様と同じく、私たち東京アマデウス合唱団にとっても大変な1年半となりました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大により半年間練習できず、10月に予定していた演奏会を中止にいたしました。

練習再開に関しても様々な意見がありましたが、恐れてばかりではなく、何かできることを探さなければ、と話し合いを重ねて参りました。会場をお借りしている同仁会館さまにもご協力いただき、万全の感染対策を取って、試行錯誤しながらも対面練習を進めることができました。

また、当団に約30年間在籍され、合唱団の困難な時期から今日に至るまで私たちを引っ張ってくださった前団長の柿沼哲氏が退団されたことは、私たちにとって大変大きな出来事でした。まだまだ不安もありますが、団員一同心を合わせ、更に前進して行きたいと思います。

経験したことのない事態に戸惑いながらも、団員の歌への想い、そして水野先生の熱意あるご指導に支えられ、音楽がどれほど私たちにとって大切な存在か、を改めて認識できた1年半でした。

本日演奏するプログラムは、昨年予定していた曲目です。これまで何度か取り上げたことのあるBachファミリーの中から、J.S.Bachとその息子たちの曲を演奏いたします。過去に演奏した曲もごさいますが、歌うほどにその難しさとスケールの大きさ、奥深さを実感しております。

いつも素晴らしい演奏で私たちを助けてくださるオケの方々と共に、水野先生の指揮のもと、2年分の想いを演奏に込めて皆さまにお伝えできましたら幸いです。

感染予防対策のためご不便をお掛けする面もごさいますが、どうぞごゆっくりとお楽しみください。

東京アマデウス合唱団 団長 大久保 ルミ子





PROGRAM

Carl Philipp Emanuel Bach (1714~1788)

カール・フィリップ・エマヌエル・バッハ

Zwei Psalmen		2つの詩編
Der 2. Psalm Wq 205		詩編2
Der 4. Psalm Wq 206		詩編4
Vier Motetten Wq208		4つのモテット
1. Trost der Erlösung	Wq 208.1	救いの慰め
2. Der Kampf der Tugend	Wq 208.2	美德の戦い
3. Bitten	Wq 208.3	祈願
4. Die Menschenliebe Jesu	Wq 208.4	イエスの隣人愛

～ 休 憩 ～

Johann Christoph Friedrich Bach (1732~1795)

ヨーハン・クリストフ・フリードリヒ・バッハ

Wachet auf ruft uns die Stimme 目覚めよとの声がかたしたちを呼びます

Johann Sebastian Bach (1685~1750)

ヨーハン・ゼバスティアン・バッハ

Lobet den Herrn, alle Heiden, BWV230 主を讃美せよ、すべての異邦人たちよ

(選曲 辻村順子)





PROFILE



指揮 水野 克彦

東京藝術大学卒業。クラリネット専攻。在学中は藝大バッハ・カンタータ・クラブに在籍し、小林道夫氏の薫陶のもとにバッハの教会音楽作品を研究した。卒業後はクラリネット奏者としてオーケストラ、室内楽等の演奏にたずさわったが、しだいに十代の頃から親しんできた合唱音楽や教会音楽へ傾倒するようになり、ピアノ伴奏者および通奏低音奏者としてこの分野に参加することが多くなった。現在は指揮者としてアマチュア合唱団の指導に力を注ぎ、オルガン演奏もライフワークとして取り組んでいる。日本オルガニスト協会会員。日本オルガン研究会会員。茗荷谷キリスト教会オルガニスト。



チェロ 伊藤 恵以子

東京藝術大学、同大学院博士課程修了。チェロを三木敬之、レーヌ・フラショー、倉田澄子の各氏に師事。日本音楽コンクール入選。パリ・エコールノルマルで学ぶ。在学中バッハカンタータクラブに所属し、小林道夫氏の指導の下で数多くの宗教曲に触れる。現在ピアノ四重奏Ensemble Deliceや、デュオPiacevole等の室内楽、モダンとバロック楽器での合唱の伴奏等様々な演奏活動を行っている。



コントラバス 栗田 涼子

東京藝術大学を経て同大学院修了。オーケストラや室内楽、録音などの演奏に出演している。2019年2月たかまつ国際古楽祭にてCapriora di joiaのアンサンブルに参加。7月バロックヴァイオリニストDavide Monti氏による即興演奏会に参加。11月台湾にてバロックヴァイオリニストAnton Steck指揮Essential Sound Baroque Ensembleの演奏会に参加。



オルガン 平野 智美

東京藝術大学卒業、同大学院修了。文化庁特別派遣芸術家在外研修員としてイギリスに派遣され研鑽を積む。2016年～2018年国立音楽大学非常勤講師。ソロCD「<1685> 後期バロックの3巨匠」のほか、様々な録音に参加。現在、千葉経済大学短期大学部講師として後進の指導にあたるほか、国内外の演奏家と共演を重ねている。

PROGRAM NOTES



辻村 順子

ヨーハン・ゼバスティアン・バッハは最初の妻マリア・バルバラ、そして後妻のアンナ・マクダレーナとの間にそれぞれ10人の子供を授かったが、成人したのは10人で、そのうちの6人が息子であった。それぞれ音楽の才能があったが、2人は若くして亡くなった。

残りの4人はマリア・バルバラとの間に生まれたヴィルヘルム・フリーデマンとカール・フィリップ・エマヌエル、そしてアンナ・マクダレーナとの間に生まれたヨーハン・クリストフ・フリードリヒとヨーハン・クリスティアンである。

今回はそのうちの2人、カール・フィリップ・エマヌエルとヨーハン・クリストフ・フリードリヒを取り上げました。

カール・フィリップ・エマヌエル・バッハ

Carl Philipp Emanuel Bach (1714-1788)

ゲオルク・フィリップ・テレマン Georg Philipp Telemann が名付け親。ワイマールに生まれ、ハンブルクにて没。ベルリンとハンブルクで活躍した。「ベルリンのバッハ」と呼ばれる。交響曲、室内楽、合唱曲など多作であるが、最も多いのは独奏クラヴィア曲、クラヴィア伴奏付きの歌曲である。

Zwei Psalmen 2つの詩編

Text: Johann Andreas Cramer (1723-1788)

「Musikalisches Allerley von verschiedenen Tonkünstlern さまざまな音楽芸術家による音楽アンソロジー」に収められている。

Der 2. Psalm 詩編2 Wq205 ソプラノ、アルト、テノール、バス、コンティヌオ
(本日は全10節のうち、1・2・9・10節を演奏します)

Der 4. Psalm 詩編4 Wq206 ソプラノ、アルト、コンティヌオ
(本日は全9節のうち、1・2・9節を演奏します)

Vier Motetten 4つのモテット

1. Trost der Erlösung 救いの慰め Wq208.1

17の詩節を持つゲレルト歌曲から選び出した1・8・14・17節を変化なく繰り返している。

Text: Christian Fürchtegott Gellert (1715-1769)
ソプラノ、アルト、バス、コンティヌオ

2. Der Kampf der Tugend 美德の戦い Wq208.2

曲を詩節ごとに変化させている。

Text: Christian Fürchtegott Gellert
ソプラノ、アルト、テノール、バス、コンティヌオ

3. Bitten 祈願 Wq208.3

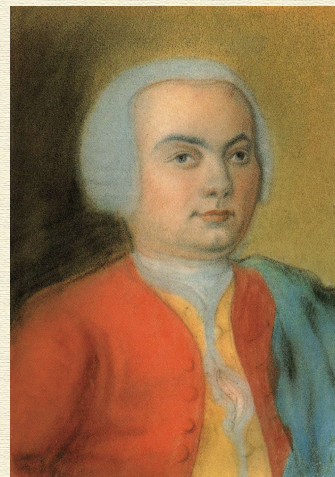
原曲はピアノ伴奏歌曲。

Text: Christian Fürchtegott Gellert
ソプラノ、アルト、テノール、バス、コンティヌオ

4. Die Menschenliebe Jesu イエスの隣人愛 Wq208.4

オリジナルにはバスパートはなく、ソプラノ、アルトとコンティヌオのみのために作曲されている。

Text: Christoph Christian Sturm
ソプラノ、アルト、バス、コンティヌオ





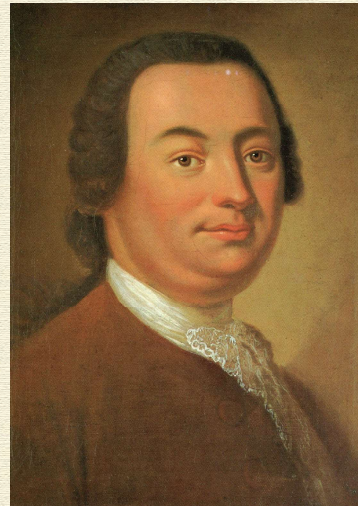
ヨーハン・クリストフ・フリードリヒ・バッハ

Johann Christoph Friedrich Bach (1732-1795)

ライプツィヒに生まれ、ビューッケブルクにて没。「ビューッケブルクのバッハ」と呼ばれる。クラヴィーアの名手。交響曲・室内楽曲・鍵盤曲・教会音楽など、すべての分野の作品を書いている。

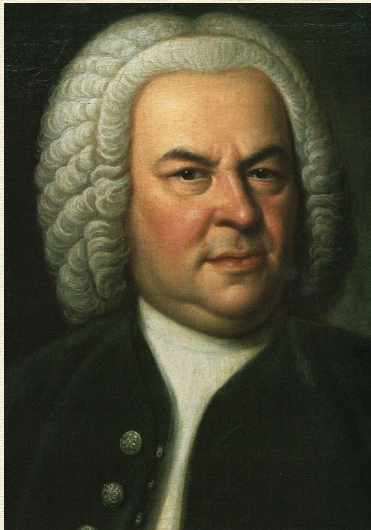
Wachet auf, ruft uns die Stimme 目覚めよとの声がわたしたちを呼びます

無伴奏の4声モテット。本日はコンティヌオ伴奏で演奏します。Philipp Nicolai(1566-1608)の同名のコラールの全3節が、そのまま3つの楽章に作曲されている。最終楽章では父の同名のカンタータのコラールが引用されている。1780年代に書かれた。



ヨーハン・ゼバスティアン・バッハ

Johann Sebastian Bach (1685-1750)



アイゼナハに生まれ、ライプツィヒにて没。現在、「バッハ」といえばこのJohann Sebastianを指す。

カール・フィーリップ・エマヌエルとヨーハン・クリストフ・フリードリヒの父親。

カンタータ、オラトリオ、受難曲、ミサ曲、モテット、コラール等の声楽作品、オルガンやチェンバロ等の鍵盤作品、管弦楽曲、その他数多くの作品を書いている。

Lobet den Herrn, alle Heiden, BWV230 主を讃美せよ、すべての異邦人たちよ

詩編117。全6曲のモテットのうち、唯一この曲だけが全曲を通して4声で書かれている。使用目的(葬式?)も作曲年(1720年代?)も不明で、バッハの作品ではないとの声もある。

本日はコンティヌオ伴奏で演奏します。





東京アマデウス合唱団

ソプラノ 辻村 順子 ・ 中西亜紀子 ・ 平石 幸枝
アルト 大久保ルミ子 ・ 大庭 裕子 ・ 佐藤由紀子
濱野美保子 ・ 堀江 和子 ・ (大友 美佐)
テノール 寺尾 敏康 ・ (大庭 敏彦)
バス 椎野 隆志 ・ 中西 宏年 ・ 中村 直利

ご案内

少人数に適したルネサンスやバロック時代の宗教曲を積極的に取り上げて、他の合唱団ではあまり歌うことの無い、隠れた名曲を歌っています。過去に演奏した楽曲をホームページに掲載していますので、ご興味のある方はどうぞご覧ください。

今後の予定は以下の通りです。

～ 第40回定期演奏会 ～

日時：2022年10月9日(日) 夕刻開演予定

会場：同仁キリスト教会礼拝堂

曲目：レオンハルト・レヒナー『ヨハネ受難曲』ほか

見学ご希望の方は事務局までご連絡ください。

合唱団ホームページ <http://t-amadeus.music.coocan.jp/>

『団員募集』タブより専用フォームにて送信 または

tamadeus.chorus.query@gmail.com ヘメールをお願いします。





Tokyo Amadeus Chorus

Since 1980

歌 詞 対 訳

水野 克彦

カール・フィリップ・エマヌエル・バッハ
Carl Philipp Emanuel Bach

Zwei Psalmen

2つの詩編

Der 2. Psalm Wq 205

詩編 2

1.

Warum versammeln sich und dräuen
die Heiden, welche Gott entweihen?
Wer hat die Völker aufgebracht?
Warum erhebet ihre Stimme
in ihrem frevelhaften Grimme
doch so vergeblich ihre Macht?

2.

Der nahe Streit wird schrecklich werden!
Empörte Könige der Erden
beschließen eine große Tat.
Die Herren halten, Gott der Götter,
selbst wider dich und unsern Retter,
den Gott Messias, einen Rat!

(第3節～第8節 今回は演奏しないため省略)

9.

Beherrscher, lasst euch unterrichten!
Lernt, lernet des Gehorsams Pflichten,
ihr Richter, ehrt ihn, dient ihm gern!
O fürchtet euch, ihn zu erbittern!
Dient ihm mit Furcht! Freut euch mit Zittern
und ehrt und küsst den Sohn des Herrn!

Text: Johann Andreas Cramer

歌詞: ヨーハン・アンドレアス・クラマー

1.

なぜ集まって威嚇しているのか、
神の神聖をけがす異教徒たちは。
誰が民衆を憤激させているのか。
なぜ彼らは声を上げ、
その不敬な怒りで
さほどまで無益に彼らの力を誇示するのか。

2.

目前に迫った争いが恐怖のうちに始まるであろう。
激昂した地上の王たちが
ひどい行動を決心する。
領主たちは居座っています、神のなかの神よ、
わたしたちの救世主であるあなたに、
神なるメシアのあなたに、御心に逆らっても。

9.

支配者たちよ、おまえたちは教えてもらえ。
習え、服従の義務を習え、
おまえたち裁く者よ、彼を敬い、喜んで彼に仕えよ。
おお、彼を怒らせることを恐れよ。
恐れをもって彼に仕えよ。慄きながら喜び
そして主の息子を敬い、接吻せよ。

10.
Küsst ihn, dass nicht sein Zorn erwache!
Eilt, eilt, ihr Opfer seiner Rache,
den Aufruhr itzt noch zu bereun!
Der Zorn des Herrn wird bald entbrennen.
Heil allen denen, die ihn kennen
und ihm ihr ganz Vertrauen weihn!

Der 4. Psalm Wq 206

詩編 4

1.
Wenn ich zu dir in meinen Ängsten flehe,
antworte mir, o Gott, von deiner Höhe!
Gott meiner Frömmigkeit,
wenn ich dich rufe, sei nicht weit!

2.
Der du mir Raum machst,
wenn der Feind mich beuget
und mir kein Weg
aus meiner Angst sich zeigt,
erhöre mein Gebet,
womit mein Herz um Hülfe fleht!

(第3節～第8節 今回は演奏しないため省略)

9.
Ich liege, Gott,
von deiner Hand beschirmt,
und ruhe ganz im Frieden,
wenn es stürmet.
Du nimmst dich meiner an,
damit ich sicher wohnen kann.

10.
彼に接吻せよ、彼の怒りが目を覚まさないように。
急げ、急げ、彼の報復に対するおまえたちのささげ物を、
反抗したことを今なお後悔することがささげ物なのだ。
主の怒りは速やかに燃え上がるであろう。
彼を知る全ての者に平安あれ。
そしてまったき信頼を彼に捧げる全ての者に平安あれ。

1.
わたしがあなたに不安を抱えながら祈り願うとき、
答えてください、おお神よ、あなたがおられる高みから。
わたしが深く信ずる神よ、
わたしがあなたを呼ぶとき、遠くにいないでください。

2.
わたしに居場所を作ってくださいるあなた。
敵がわたしを屈服させて、
不安から逃れる道が
わたしに見えなくなるとき、
わたしの祈りを聞き入れてください、
わたしの心が助けを願うその祈りを。

9.
神よ、わたしは
あなたの御手によって護られており、
平安のうちにすっかり休んでいます、
嵐が吹き荒れるときでも。
あなたがわたしのために尽くしてくださるのは、
わたしが安心して住むことができるためです。

Vier Motetten Wq 208

4つのモテット

(番号が飛んでいる節は作曲されていない)

Trost der Erlösung Wq 208.1

救いの慰め

1.
Gedanke, der uns Leben gibt,
welch Herz vermag dich auszudenken!
„Also hat Gott die Welt geliebt,
uns seinen Sohn zu schenken!“

8.
Des Sohnes Gottes Eigentum,
durch ihn des ewgen Lebens Erbe:
Dies bin ich, und das ist mein Ruhm,
auf den ich leb und sterbe.

14.
Erfüll mein Herz mit Dankbarkeit,
sooft ich deinen Namen nenne.
Und hilf, dass ich dich allezeit
treu vor der Welt bekenne.

17.
Hat Gott uns seinen Sohn geschenkt,
so lass mich noch im Tode danken:
Wie sollt uns der, der ihn geschenkt,
mit ihm nicht alles schenken!

Der Kampf der Tugend Wq 208.2

美德の戦い

1.
Oft klagt dein Herz, wie schwer es sei,
den Weg des Herrn zu wandeln
und täglich seinem Worte treu
zu denken und zu handeln.

Text: Christian Fürchtegott Gellert

歌詞: クリスティアン・フルヒテゴット・ゲレルト

1.
御想い、それはわたしたちに生命を与えてくださいます。
どんな心があなたのことを想像できるでしょうか。
「そのように神は世を愛してくださったのだ、
わたしたちに神の息子を贈ってくださるほどに」

8.
神の息子の所有物、
彼による永遠の生命の嗣業。
それはわたしです、そしてそれはわたしの誉れ、
そのためにわたしは生き、そして死にます。

14.
わたしの心を感謝の気持ちで満たしてください、
わたしがあなたの名を呼ぶたびに。
そして助けてください、わたしがあなたをいつも
誠実に世に対して告白するように。

17.
神はわたしたちにその御子を贈ってくださいました、
だからわたしは死にあってなお感謝しましょう。
御子を贈ってくださった神が、どうしてわたしたちに
全てのものを御子と共に贈ってくださらないことがありますでしょうか。

Text: Christian Fürchtegott Gellert

歌詞: クリスティアン・フルヒテゴット・ゲレルト

1.
おまえの心は幾度も重苦しげに嘆いている、
主の道を歩むことと
日ごとに主の言葉を忠実に
思い出して行動することについて。

Wahr ist's: Die Tugend kostet Müh;
sie ist der Sieg der Lüste.

Doch richte selbst: Was wäre sie,
wenn sie nicht kämpfen müsste?

2.

Die, die sich ihrer Laster freun,
trifft die kein Schmerz hienieden?
Sie sind die Sklaven eigener Pein
und haben keinen Frieden.

Der Fromme, der die Lüste dämpft,
hat oft auch seine Leiden.

Allein, der Schmerz, mit dem er kämpft,
verwandelt sich in Freuden.

8.

Du streitest nicht durch eigne Kraft,
drum muss es dir gelingen.

Gott ist es, welcher beides schafft,
das Wollen und Vollbringen.

Wann gab ein Vater einen Stein
dem Sohn, der Brot begehrte?

Bet oft; Gott müsste Gott nicht sein,
wenn er dich nicht erhörte!

11.

Und endlich, Christ, sei unverzagt,
wenn dir's nicht immer glücket,
wenn dich, soviel dein Herz auch wagt,
stets neue Schwachheit drücket.

Gott sieht nicht auf die Tat allein,
er sieht auf deinen Willen.

Ein göttliches Verdienst ist dein!
Dies muss dein Herze stillen.

事実そうだ。美徳には苦勞という代償が必要なのだが、
苦勞するということは情欲が勝利したということだ。
しかしおまえは自分で判断を下せ。美徳とは何なのか、
もし美徳が戦う必要がないとすれば。

2.

自分の悪徳を喜ぶ情欲。

情欲に打撃を与える苦痛は現世にないのか。

情欲は自分自身の苦痛の奴隷だ。

そしてどんな平安も持たない。

情欲を鎮める敬虔な者は、

またしばしば自分の苦しみを持っている。

しかし、彼が戦っている苦痛は

喜びに変わる。

8.

おまえは自分自身の力によっては争わない。

それゆえおまえに成功がもたらされるに違いない。

神は創造するのだ、

意志と成就の両方を。

いつ父親が石を与えたか、

パンをねだっていた息子に。

幾度も祈れ。神が神である必要はあるまい、

もしもおまえの祈りが聞き届けられないのならば。

11.

さあキリスト教徒よ、もはや臆することなかれ、

おまえが必ずしも順調ではないときも、

またおまえの心がどれほど勇気を持とうが、おまえを
いつも新しい弱さが苦しめるときも。

神はただ行いだけでなく、

おまえの意志を重視なさる。

神がなさった功績はおまえのものだ。

それがおまえの心を静めるに違いない。

Bitten Wq 208.3

祈願

1.
Gott, deine Güte reicht so weit,
so weit die Wolken gehen,
du krönst uns mit Barmherzigkeit
und eilst uns beizustehen.
Herr, meine Burg, mein Fels, mein Hort,
vernimm mein Flehn, merk auf mein Wort,
denn ich will vor dir beten!
2.
Ich bitte nicht um Überfluss
und Schätze dieser Erden,
lass mir, so viel ich haben muss,
nach deiner Gnade werden!
Gib mir nur Weisheit und Verstand,
dich, Gott, und den, den du gesandt,
und mich selbst zu erkennen!
3.
Ich bitte nicht um Ehr und Ruhm,
so sehr sie Menschen rühren!
Des guten Namens Eigentum
lass mich nur nicht verlieren!
Mein wahrer Ruhm sei meine Pflicht,
der Ruhm vor deinem Angesicht
und frommer Freunde Liebe.
4.
So bitt ich dich, Herr Zebaoth,
auch nicht um langes Leben.
Im Glücke Demut, Mut in Not,
das wollest du mir geben.
Herr, in deiner Hand steht meine Zeit.
Herr, lass du mich nur Barmherzigkeit
vor dir im Tode finden.

Text: Christian Fürchtegott Gellert

歌詞: クリスマン・フルヒテゴット・ゲレルト

1.
神よ、あなたのご親切はこんなに遠くまで及び、
雲が飛んで行くほどかなたまでとどきます。
あなたは慈愛に満ちてわたしたちに戴冠させてくださり、
わたしたちを急いで助けてくださいます。
主よ、わたしの城、わたしの岩、わたしの避難所よ、
わたしの願いを聞いて、わたしの言葉に注意を払ってください。
わたしはあなたの御前で祈っているのですから。
2.
わたしは贅沢を願わず
この世の富を願いません。
わたしが持たねばならない分だけ、わたしに
あなたの恩寵によって与えてください。
わたしにただ知恵と理性を与えてください、
あなたと、神よ、あなたが送ってくださったお方と、
そしてわたし自身を認識するために。
3.
わたしは栄光や名誉を願いません、
人々はそれらにとても心を奪われますが。
信仰篤いという名声を持つことだけは
わたしから失わせないでください。
わたしのまことの名誉とは、わたしの義務と
あなたのお顔の前での誉れと
そして敬虔な友人の愛でありますように。
4.
それだからわたしがあなたに願うのは、万軍の主よ、
長く生きることでもありません。
幸福なときに謙虚を、悩むときに勇気を
あなたはわたしに与えようとしてくださる。
主よ、あなたの御手の内にわたしの時はあります。
主よ、あなたはわたしにただ御慈悲だけを
死ぬときに御前で見いださせてください。

Die Menschenliebe Jesu Wq 208.4
イエスの隣人愛

1.
Dich bet ich an, Herr Jesu Christ,
du Heil der Menschenkinder,
der du so reich an Gnade bist,
so zärtlich gegen Sünder,
du bist des Blöden Zuversicht.
Nie wendest du dein Angesicht
von des Bedrängten Flehen.
Du siehst mit gnadevollem Blick
auf ihn in seiner Not zurück
und eilst, ihm beizustehen.

3.
O lass in meiner Pilgerschaft
mich auf dein Vorbild sehen,
erfülle mich mit Lust und Kraft,
dem Nächsten beizustehen,
betrübter Herzen Trost zu sein,
mich mit den Fröhlichen zu freun,
mit Weinenden zu klagen.
Lass mich dem, der sein Herz mir weiht,
ein Herz voll frommer Redlichkeit
und Treue nicht versagen.

5.
Lass mich mit brüderlicher Huld
den Strauchelnden erwecken,
durch Sanftmut, Mitleid und Geduld
des Nächsten Fehler decken.
Mein Antlitz sei nie fürchterlich
und meine Seele neige sich
zu der Bedrängten Flehen.
So wird mich in der bessern Welt,
die nur Beglückte in sich hält,
der Liebe Lohn erhöhen.

Text: Christoph Christian Sturm

歌詞: クリストフ・クリスティアン・シュトゥルム

1.
わたしはあなたを崇めます、主なるイエス・キリストよ、
人の子たちの救いであられるあなた、
こんなにも恩寵に富んでおられるあなた、
罪びとに対してこんなにも優しいあなた、
あなたは弱い者の期待です。
あなたは決して御顔をお背けになりません、
熱心に訴えかける嘆願から。
あなたは慈愛に満ちた眼差しで
苦悩にあるその者を振り返って
助けるために急いで来られます。

3.
おお、わたしが巡礼するときは
あなたのお手本にわたしの目を注がせて
わたしを喜びと力で満たしてください、
それによって隣人を助け、
悲しんでいる心の慰めとなり、
喜ぶ者たちと共に喜び、
涙を流す者たちと共に嘆き訴えるために。
わたしに心をゆだねる隣人に対して、
敬虔に満ちた実直な心と
誠実を拒絶しないようにさせてください。

5.
友愛の恩寵によってわたしに
墮落した者を目覚めさせてください、
優しさ、哀れみ、忍耐で
隣人の欠点をおおわせてください。
わたしの顔が決して恐ろしくありませんように、
そしてわたしのたましいが傾きますように、
悩む者の訴えかけへと。
そうすればわたしはより良い世界で、
幸せな者たちのみを内に抱えるその世界で
愛の報酬によって高められることでしょう。

ヨーハン・クリストフ・フリードリヒ・バッハ
Johann Christoph Friedrich Bach

Wachet auf, ruft uns die Stimme

目覚めよとの声がわたしたちを呼びます

1.

Wachet auf, ruft uns die Stimme
der Wächter sehr hoch auf der Zinne,
wach auf, du Stadt Jerusalem!
Mitternacht heißt diese Stunde,
sie rufen uns mit hellem Munde:
wo seid ihr klugen Jungfrauen?
Steht auf, der Bräutigam kömmt!
Steht auf, die Lampen nehmt!
Halleluja!
Macht euch bereit
zu der Hochzeit,
ihr müsset ihm entgegengehn!

2.

Zion hört die Wächter singen,
das Herz tut ihr für Freuden springen,
sie wachet und steht eilend auf.
Ihr Freund kommt vom Himmel prächtig,
von Gnaden stark, von Wahrheit mächtig,
ihr Licht wird hell, ihr Stern geht auf.
Nun komm, du wert' Kron,
Herr Jesu, Gottes Sohn!
Hosianna!
Wir folgen all
zum Freudensaal
und halten mit das Abendmahl.

Text: Philipp Nicolai

歌詞: フィーリップ・ニコライ

1.

目覚めよとの声がわたしたちを呼びます、
見張りたちの声が尖塔の上のとても高くで、
目覚めよ、おまえ、エルサレムの町よと。
今は真夜中、
彼らは明朗な口調でわたしたちを呼びます。
「おまえたち賢いおとめはどこにいるのか。
立ち上がれ、花婿がくるのだ。
立ち上がれ、ランプを取れ。
ハレルヤ。
用意をして
婚礼に臨め、
おまえたちには花婿を出迎えてもらいたいのだ」

2.

シオンは見張りたちが歌うのを聞いて、
喜びに心が弾み、
目を覚まして急いで立ち上がります。
シオンが愛するお方は天から麗しく来られます、
たくさんの恩寵と力強い真理によって。
シオンの光は輝き、シオンの星は昇ります。
さあ来てください、あなた、貴重な冠よ、
主イエスよ、神の子よ。
ホザンナ。
わたしたちは皆で
喜びの広間へと従い行き
そして共に晩餐を催すのです。

3.
Gloria sei dir gesungen
mit Menschen- und englischen Zungen,
mit Harfen und mit Zimbeln schön.
Von zwölf Perlen sind die Pforten
an deiner Stadt; wir sind Konsorten
der Engel hoch um deinen Thron.
Kein Aug hat je gespürt,
Kein Ohr hat je gehört
solche Freude.
Des sind wir froh,
io, io,
ewig in dulci jubilo.

ヨーハン・ゼバスティアン・バッハ
Johann Sebastian Bach

Lobet den Herrn, alle Heiden, BWV 230
主を讃美せよ、すべての異邦人たちよ

Lobet den Herrn, alle Heiden,
und preiset ihn, alle Völker!
Denn seine Gnade und Wahrheit
waltet über uns in Ewigkeit.
Alleluja.

3.
どうか栄光の讃歌があなたに歌われますように、
人びとの舌と天使たちの舌によって、
ハープとシンバルによって美しく。
十二の真珠によって飾られた門が
あなたの町にあります。わたしたちは仲間として
天使たちと共に高みでああなたの玉座を囲みます。
今までに気づいた目もない、
今までに聞いた耳もない
そのような喜び。
このことをわたしたちは楽しみます、
イオー、イオーと喜びの声も高く
甘い喜びに浸りながら永遠に。

Text: Psalm 117

歌詞: 詩編 117

主を讃美せよ、すべての異邦人たちよ、
そして讃えよ、あらゆる民族たちよ。
なぜなら主の恩寵と真理が
とこしえにわたしたちを統べ治めるからである。
アレルヤ。